

■**広瀬久兵衛** 殖産家、財政家。貸付け回収のため、府内藩のコンサルタントとなり、長期にわたって地域の開拓に貢献。
ひろせきゅうべえ
異学の禁・・・1790＝ 豊後国日田で、各藩の御用商人・大名貸しをしていた{博多屋}広瀬三郎右衛門の三男に生まれる。

松平定信引退1793＝ 3歳：

蝦夷地直轄始1799＝ **9歳**：8つ年上の**兄淡窓が福岡から帰郷**，
早くから、父に従い日田陣屋に出入りし，

青洲麻醉手術1805＝15歳：代官の視察に際して、父に代わって随行。

ﾎﾝﾌﾞ船狼藉・ 1807＝17歳：この年、末弟旭荘が誕生。
ﾌｴｰﾄﾝ号事件 1808＝**18歳**：

・・・・・・・1810＝20歳： **病弱であった兄淡窓に代わって、家督を相続。**

高田屋拿捕・ 1812＝22歳：結婚。

杉田玄白没・ 1817＝**27歳**： **この年西国筋郡代に着任した塩谷正義との出会いが公共事業へ取り組む契機となり**，
水野忠成老中1818＝28歳：

伊能図完成・ 1821＝31歳：朝鮮通信使の応接のため、役人に従って対馬に赴く。
英船浦賀来航1822＝32歳： **小ヶ瀬井手築造を願い出て**，
ｼﾞｵﾙﾄ来日・ 1823＝33歳： ***最初の仕事小ヶ瀬井手の開削が始まる。**
莫大な経費と労力を費やしながらも、
異国船打払令1825＝35歳： **仮竣工すると、翌年にかけて日田川通船を実現。**
仮竣工後も小ヶ瀬井手が拡張や修復を繰り返して行くなか、
・・・・・・・1826＝**36歳**： **久兵衛の力量を見込んだ塩谷郡代の命で、呉崎新田開発に着手。**

日本外史・・・1827＝37歳： **呉崎塩田も起工。**
ｼﾞｵﾙﾄ事件・ 1828＝38歳：源兵衛を養子にする。**広瀬井手の開通工事にも着手。**
ｼﾞｵﾙﾄ追放・ 1829＝39歳： **350町歩の呉崎新田が完成。**
富嶽流行・・・1830＝40歳：源兵衛に家督を譲って、**隠居**。博多屋の経営から手を引くと、
富嶽三十六景1831＝41歳：長女と源兵衛が結婚。
鼠小僧磔・・・1832＝42歳： **陣屋の公金を扱う掛屋を命じられ、庄屋も兼務する一方、千早新田を起工。**
広瀬井路は協力者の死により中断、のち遺児によって完成。
天保大飢饉始1833＝43歳： **苗字名乗ることを許されるが**，
滑稽+人情本 1835＝**45歳**： ***塩谷正義が江戸に呼び戻されて、大きな転機を迎える。**
・・・・・・・1836＝46歳： **掛屋を辞め**，
大塩平八郎乱1837＝47歳： **庄屋も辞任**。博多屋の貸付け資金を回収するため、
適塾+ﾌﾞﾝ・ 1838＝48歳：水屋村山王橋を架橋。**対馬藩財政を皮切りに、各藩の改革に関与して行く。**

勸進帳初演・ 1840＝50歳： **貸付けがとくに多い府内藩の家老から財政改革の支援を求められ、改革案を提出したが、藩主が抵抗。**

天保改革弾圧1842＝52歳： **藩主が代わって、本格的に関わる。**

天保改革終・ 1844＝**54歳**：
阿部正弘首座1845＝55歳：妻が死去。
孝明天皇・・・1846＝56歳： **5ヶ年年限とされたこの年には、その成果を見せ始め**，
・・・・・・・1847＝57歳：草地塩田を開く。**200石知行の恩賞を受けるが、辞退。その後も改革は続けられ**，

北斎没・・・1849＝59歳：歌詠橋を架橋。**一代帯刀を許される。**
国定忠治磔・ 1850＝60歳：以降、***引退・帰郷の願いを何度も出すが、許されず**，

ペリー来航・ 1853＝**63歳**：
開国開港・・・1854＝64歳：川原隧道を石畳にする。
安政大地震・ 1855＝65歳：兄淡窓が死去。

その間も原野の開拓などを行い、藩の収入増に結び付け，
工事が始まると、近くに住んで、毎日工事現場に通う生活を続け、
桜田門外変・ 1860＝70歳：

生麦事件・・・1862＝**72歳**：

禁門の変・・・1864＝74歳：後妻を迎える。**20キロに及ぶ水路工事も完成させた。**

明治維新・・・1868＝78歳：

初の日刊新聞1870＝80歳： ***30年間も活動後、明治になってやっと帰郷することができたが**，
廃藩置県・・・1871＝**81歳**： **病気のため没した。**

大分県「農業利水偉人伝8」，「人づくり風土記(大分)」，